

車輪のジャイロ運動

質量 m , 半径 r の車輪を図の様に中心 A から a だけ離れた点 O でつり, 角速度 ω で回転させる.

A は O の周りを角速度 Ω で水平に回転する. (ジャイロ運動)

二つの角速度 ω と Ω には簡単な関係がある事を示そう.

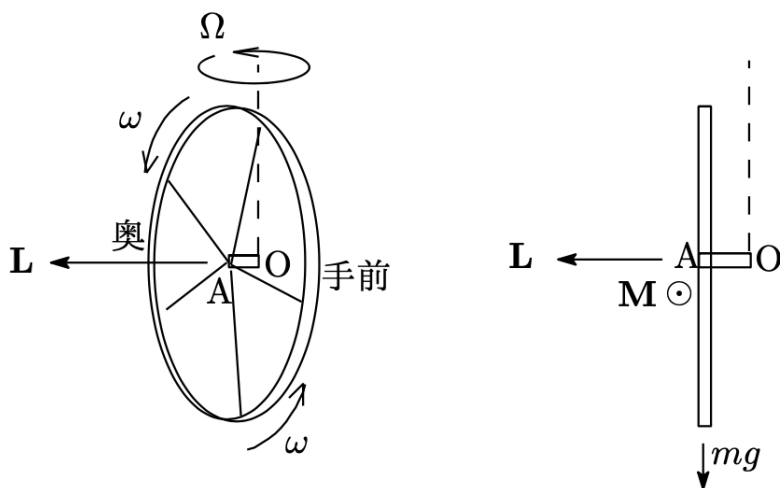
O を原点とし, 鉛直上向きを z 軸とした xyz 座標系の単位ベクトル e, e_z を次の様に定義する.

$$e = \begin{pmatrix} \cos \Omega t \\ \sin \Omega t \\ 0 \end{pmatrix} \quad e_z = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

角運動量や力のモーメントは O を基準とする. $\overrightarrow{OA} = ae$ であり, 車輪の角運動量は $L = mr^2\omega e$ としてよい.

(1) 重力 $-mge_z$ が車輪に及ぼす力のモーメント M を求めよ. 点 A に質量 m が集中しているとして計算して良い.

(2) $\frac{dL}{dt} = M$ を用いて Ω と ω の満たす関係式を求めよ. 教室での演示と合致するか反芻してみよう.



解答例

(1)

$$\mathbf{M} = \overrightarrow{OA} \times (-mge_z) = ae \times (-mge_z) = -mga \begin{pmatrix} \cos \Omega t \\ \sin \Omega t \\ 0 \end{pmatrix} \times \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} = mga \begin{pmatrix} -\sin \Omega t \\ \cos \Omega t \\ 0 \end{pmatrix}.$$

(2)

$$\frac{d\mathbf{L}}{dt} = \frac{d(mr^2\omega\mathbf{e})}{dt} = mr^2\omega \frac{d}{dt} \begin{pmatrix} \cos \Omega t \\ \sin \Omega t \\ 0 \end{pmatrix} = mr^2\omega \begin{pmatrix} -\Omega \sin \Omega t \\ \Omega \cos \Omega t \\ 0 \end{pmatrix}.$$

(1) との比較から, $mga = mr^2\omega\Omega$ が成り立つ. 即ち, 車輪の元の角速度 ω とジャイロ運動の角速度 Ω は反比例する.

$$\omega\Omega = \frac{ga}{r^2}.$$

教室での演示で, 車輪を勢いよく回す程 (ω を大きくする程) ゆっくりとしたジャイロ運動が観察された事を思い出そう.